

## モンベルアウトドアヴィレッジるもい基本計画(案)



市民説明会で出た質問をもとに作成しました。

Q

また新しい公共施設建てても、  
同じように使えなくなったら…

A

道の駅における「公共施設」は収益を運営費に充てることにより「不採算」とならないよう、行政が建設費など初期投資、民間事業者が運営費や維持費を負担する、新しい公共施設の形にシフトしたいと考えています。

Q

ランニングコストは市で  
どれくらい負担することになるの？

A

基本的には、運営費や維持費などのランニングコストについては、民間事業者が負担する考えです。ただし、トイレなどの公共スペース部分は、市が一部負担します。

Q

企業誘致には、撤退のリスクがあると思うけど、撤退したらどうするの？

A

企業誘致の撤退リスクは否定できませんが、(株)モンベルは、過疎地域にある自治体とも連携をして地域の活性化に貢献している実績のある企業であり、当市の状況も理解した上で出店を検討していただいているところです。他自治体でも公設民営型で10施設ほどに出店していますが、現時点で1つも撤退はしていなく、むしろ撤退させないような当市の魅力づくりに知恵を出さなければなりません。

Q

アウトドアブームも落ち着いたとか話とか聞くけど、本当に大丈夫なの？

A

北海道の自然を生かしたAT(アドベンチャーツーリズム)に代表されるよう、全体でのアウトドア機運が高まっているものと考えており、当市・管内の潜在的なポテンシャルを生かすため、アウトドア振興に着目しました。拠点施設は、不採算とならないよう、行政が建設費など初期投資、民間事業者が運営費や維持費を負担する形とするほか、ヴィレッジエリアについても、少しずつ試験的に取り組み、過大な投資はしないこととしています。

Q

望洋の森や憩いの森など、整備されていないところが多いけど、どうするの？

A

整備されていない資源についても、アウトドアの視点から観光資源として活用できるものを検討し、優先順位をつけながら整備していくことで、少しずつ留萌の魅力を増やしていきたいと考えています。

Q

留萌の冬は厳しく、観光客を集客するのは厳しいと思う。冬はどうするの？

A

まずは、地元のアウトドア愛好家やアウトドア関連の皆さんと一緒に地元の皆さんに冬を楽しんでもらえるようなアウトドア体験を検討し、それを観光客にも楽しんでもらえるよう、体験メニューの商品化にも取り組んでいきます。（礼受・千望台などでのスノーシューやイグルーづくり体験、テントサウナ体験など）

Q

アウトドアメーカーは他にもあると思うけど、その中でもなんでモンベルなの？

A

株式会社モンベルは、過疎地域のまちづくりを応援する活動に積極的に取り組んでいます。また、防災や一次産業への支援、地域経済活性化など、「モンベル7つのミッション」という企業理念が市の目指す方向性と一致していることから、同社と包括連携協定を締結し、連携を図りながら事業を進めています。

Q

留萌にはたくさん魅力があると思うけど、  
何でアウトドアなの？

A

これまでの観光に生かしきれていなかった留萌市や管内の強みや大きな魅力である海、山などの美しい自然をアウトドア体験を通して体感してもらうことで、この地域への関心や理解を深めていくことが重要だと考えています。

さらに、リピーターとしてまた訪れてもらい、まちの様々な魅力に触れてもらう仕組みをつくることで、交流人口が拡大し、「地域の稼ぎ＝地域の元気」につなげていきたいと考えています。

Q

食を楽しめるレストラン設置や商品の開発とか、  
現在の道の駅るもいの強化も必要なのでは？

A

地元企業を中心とした民間事業者にも検討に参画していただきながら、「道の駅」と「アウトドアヴィレッジ」の今後の整備を検討していきます。

Q

拠点施設は団体や民間活力、特に若い市民が  
活用できるような仕掛けは検討しているか？

A

留萌観光協会に、官民の若手を中心とした「るもい未来観光創生チーム」、地元のアウトドア愛好家を中心とした「るもいアウトドア観光ネットワーク会議」が立ち上がり、今後の将来を担っていく若い人々からも意見、アイデアをもらいながら、拠点施設の活用や、周辺でのアウトドアイベントなども検討していきます。

Q

モンベル商品は幅広いけど、同業種の事業者が留萌にもあって、民業圧迫に繋がるのでは？

A

本格的なアウトドアショップとして、多様なアウトドアニーズに応えるため、地元で取り扱っていない新たな商品ラインナップも豊富に取り揃え、同業種の事業者と競合するような懸念は考えておりません。今後地元事業者の皆さんと、モンベル進出を契機に、増えた交流人口の誘導策や、新たな事業参画に向けた事業アイデアなど、引き続き商工会議所とも話し合いを行っていきます。

Q

過去の市職員の給料カットや市民の負担増など、将来、本当に財政的な影響は出ないの？

A

基本計画(案)では、構想における施設整備の考え方を再検討し、まずは拠点施設の整備と周辺エリアの整備方針を示す内容に見直しました。建設費などの初期投資における市の財政負担は、補助金や有利な起債を活用することで可能な限り負担を抑え、過大な投資による財政悪化などの影響が出ないよう調整します。

## お問い合わせ

モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想や基本計画に関するお問い合わせはこちらまで

留萌市地域振興部経済観光課観光振興係

TEL 0164-42-1840 / FAX 0164-42-4273